

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	歴 史 総 合	2	1		1～10組

教科書	明解 歴史総合(帝国書院)	副教材	明解歴史総合図説シンフォニア四訂版 (帝国書院)

科目の目標	18世紀からの世界や日本の歴史を、教科書の記述や史資料を通して事実認識を深めていき、捉えた事実と事実の関係性について因果関係や相関関係を捉えることで抽象化して把握する。さらに、事実認識や関係認識をふまえて、今を生きる私たちにとってそれらがどのような意味をもち、それを基づいてより良い社会や国際関係とは何かを考える。
-------	---

科目の概要	18世紀からの世界や日本の歴史を大きく、近代化が強まる時期、大衆化が強まる時期、グローバル化が強まる時期と捉えて、今を生きる私たちがどのような歴史に規定されており、どのような社会や国際関係をつくるのが私たちにとって適切であるのかを考える。そのために18世紀からの世界や日本の歴史を事実に基づいて把握していく。
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、 ④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	18世紀からの世界や日本の歴史において、特に近代化・大衆化・グローバル化の視点にたつて、どのような出来事が起こり、国際社会がどうなったのか、教科書の記述や史資料から事実を捉える力を身につける。	捉えた事実に基づいて課題を発見し、その課題を解決するためにどのような知恵が必要となるのか考える力を高める。また、課題や解決方法について他者と議論して、より妥当な知恵を見出し、それらを適切に言語化する力を身につける。	授業の内外で、歴史に対して興味や関心を深め、積極的に学習する力を高める。歴史的思考力を大事にして、現在の社会のありようを捉え、自分が社会のなかで何ができるかを考え、よりよい社会の実現に向けて行動する力を身につける。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

シラバス

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第2部 近代化と私たち ・第3章 近代化の進展と国民国家形成 4節 ・第4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 1～5節 ・第5章 近代化が進む日本と東アジア 1～3節 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	近代化が大きく進展する時期は列強が植民地支配を拡大する時期でもある。そのような支配の拡大の具体的な姿と、その背景としての帝国主義の動きについて、国際社会のダイナミズムについて考える。また、支配される人びとや、列強諸国の内部の弱者について学び、当時の人びとの生き方について考える。
	第2部 近代化と私たち ・第5章 近代化が進む日本と東アジア 4～5節 第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第1章 第一次世界大戦と日本の対応 1～3節 ・第2章 国際協調と大衆社会の広がり 1～3節 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	日本の近代化の進展と社会問題の拡大や植民地支配、大正デモクラシーと大衆化の進展について学び、東アジア世界の中の日本のありようを考える。同じ時期には第一次世界大戦が起きている。大戦前後のヨーロッパの国々の姿や国際関係が変化していく様相を具体的に学び、世界や日本への影響を考える。
2 学 期	第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第2章 国際協調と大衆社会の広がり 4～6節 ・第3章 日本の行方と第二次世界大戦 1～7節 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	戦間期の欧米や日本の政治や国際関係を学び、国際平和の実現にはどのような方法や考え方が必要となるかを追求する。また、世界恐慌により人びとの生活にどのような変化が生じ、それが第二次世界大戦に向かっていく動きのひとつとなったことを捉え、どのような社会を作ることが国際平和にとって必要なのか考える。
	第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第4章 再出発する世界と日本 1～4節 第4部 グローバル化と私たち ・第1章 冷戦で揺れる世界と日本 1～4節 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と、日本の国際社会への復帰について理解する。 また、冷戦を構造的に理解し、対立するイデオロギーのもとにおける各国の動向や各地域への影響を考察する。
3 学 期	第4部 グローバル化と私たち ・第2章 多極化する世界 1～4節 ・第3章 グローバル化のなかの世界と日本 1～5節 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	冷戦中にアメリカが抱えた諸問題を理解するとともに、それらが国際社会に与えた影響について考察する。 日本の経済回復の要因を探り、またその中で日本を取り巻く周辺諸国やアメリカとの関係性について考察する。 冷戦の終結に伴って、国際社会がどのように変化したのかを理解し、新たな国際秩序の中における日本の立ち位置と今後について考察する。